

◀ 会社紹介 ▶

船舶情報提供サービスのご紹介

株式会社 東洋信号通信社 船舶情報業務部

1. 東洋信号通信社の概要

昭和7年、横浜山手の「港の見える丘」で船舶の見張り業務を開始してから約80年。船舶動静・港湾状況を正確に把握し無数の情報をお客様のニーズに合わせてお届けすることで海上物流のトータルサポートを目指しています。また、船舶日報の発行を機に設立され、所官庁書式、OA用品をはじめ様々な一般印刷を手掛ける印刷販売部門、そして船用温度計・センサー等を扱う計量販売部門は、お客様のあらゆるご要望に応えるべく日々努力を重ねております。特に船舶事業の分野においてはAIS情報を活用した船舶位置情報提供サービスの提供など『何が今求められているのか?』を絶えず考え、新たな価値を創造しております。

2. 船舶事業：ポートルジオの運営

船舶が安全で効率的に港へ入出港するためには、情報が重要な役割を果たしていますが、東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海、九州等にある全国36港湾にて、船舶の運航予定情報の収集、航行状況の把握、国際VHFによる船舶との情報通信（海岸局：ポートルジオ）を行い、海運・港湾関係者へ船舶の動静情報を24時間365日提供しております。ポートルジオ局は現在全国で32局運営されておりますが、そのうち27局を当社が港湾管理者である地方自治体から委託を受けて運営しております。また、ポートルジオ局の他にも各湾水先人会（4水先人会）からの受託事業として『うらがチャンネルパイロット』『おおさかベイパイロット』『インランドシーパイロット』

『かんもんパイロット』も運営しており、ポートルジオに入る情報と共有することで相互の業務を円滑にしております。

3. 船舶動静データのネットワーク化と提供サービス

当社では各拠点に船舶の運航予定や実績をデータベース化しており、それらはネットワーク化され、どの拠点からでも他港情報や通過情報がリアルタイムに閲覧できるようになっております。同じように全国の沿岸域に設置したAIS受信機の情報もネットワークで繋いでおり、ポートルジオの航行支援に活用したり港湾関係者に情報提供することで、港湾運営の効率化に繋げております。

4. ポートルジオと東洋信号通信社の展望

近年、船舶の大型化や港湾開発等で港の形状が複雑化したことで危険な見合い関係が生じる水域が増え、ポートルジオを活用した自主規制や安全対策が港湾関係者の中で注目されるようになり、これまで以上に重要な役割を担うようになって参りました。東京港西航路では、ポートルジオがその時の船舶の位置関係やスケジュールを考慮しながら入出港順序をアドバイスするという水域利用調整業務が開始され、オペレーターもこれまで以上に高いスキルが求められております。

当社では、船舶の視点に立った航行支援ができるようオペレーター教育にも力を入れながら、ニーズにあったサービスが提供できるよう変化し続けたいと考えております。

SIKA(ジーカ社)校正機器のご紹介

株式会社 東洋信号通信社

計量機器グループ045-625-1450

1. 温度/圧力の管理について

船舶に搭載されている計測機器の信頼性を確かめる手段として、一番確実な方法は専用の校正器を使用する事です。SIKA社製温度校正器、圧力校正器を用いれば、温度/圧力センサーの比較校正を現場で簡単に行う事ができます。また、計器類の管理体制を確立することで、安全航行のお役にも立てる製品です。本品には校正証明書が付属され、また、当社では再校正サービスも行っております。

2. SIKA校正器の特長

SIKA社の温度校正器は、標準温度の発生装置。高精度な温度管理が必要とされる医薬品や食品業界等にも多数実績があります。今回ご紹介するマリントイプTP17~Mは、余計な機能をカットし、価格と扱い易さを重視した船用最適化モデルです。現場に持ち込みが容易なコンパクト設計、そしてボタン2つで行える非常に簡単な操作性が好評を博しております。温度レンジは室温~650℃タイプ



圧力校正器

と-30~165℃タイプの2機種がございます。

また、圧力校正器はハンドポンプと表示器を組合せた圧力校正ツールです。自社開発のポンプにより昇圧が非常にスムーズになりました。表示器についても一新し、低価格と高精度を実現。圧力レンジは-1~1,000barの各タイプを用意しております。

3. 各規制に対応

ISM CodeやSOLAS条約 (Chapter IX)に対応するため、欧州では本船に校正器を搭載するケースが多く見受けられます。各規制は今後ますます厳しくなると考えられますので、国内でも現場校正のニーズが高まっていくだろうと予想しております。

4. 計測機器事業 (SIKA社の紹介)

当社が22年間代理店業務を行うSIKA(ジーカ社)は、1901年設立のドイツ老舗メーカーです。世界的にも有名な金色枠の温度計を原点に、現在では計測コントロール機器全般を開発、販売しております。また、ドイツ計量検定所(DKD)の認定業者でもあり、厳格な品質管理体制の元で校正業務も行っています。



温度校正器